

平成30年度 国語科授業の略案 (1年B組)

月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日 (水) 3校時	かん字はかせになろう	たのしくつかおう かん字のはなし
本時のねらい (本時4/6) ○漢字の成り立ちや筆順を理解し、正しく読んだり書いたりすることができる。		
評価規準 関 絵や印からできた漢字の成り立ちについて進んで知ろうとしている。 言 漢字の成り立ちを理解している。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:35	1. ペアで前時の振り返りをする。(ぶつぶつタイム) ○すがたから 山 ○ようすから 水・雨 ○しるしから 上・下	○前時の漢字を「すがた」や「ようす」「しるし」から分類しながら掲示する。
【展開】 課題把握 10:40 ・問いの共有 ・シラバス ・言語わざ 10:45 自力解決 10:55 集団解決 ・ペア学習 11:00 ・考察 まとめ 11:15	2. 本時の課題を把握する。 ○教科書の絵手紙を想像しながら読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> えてがみを かん字になおして、 かん字のできかたを かんがえよう。 </div> 《1人でチャレンジ(8分)・ペア学び(5分)・全体学習(15分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)》 3. 絵手紙を漢字に直して、どのようにして漢字ができたかを考える。 ○絵手紙を漢字に直しましょう。前の授業のことを思い出しながら、7つの漢字ができた理由を考えましょう。 日・木・田・川・林・森・月 4. 漢字の成り立ちについて自分の考えを伝え合う。 ○ペアでどのように考えたか、伝え合しましょう。 ・田んぼの形をしているので、「田」という漢字になったと思います。 ・「川」は川が流れているようすから、3つの線ができて「川」という漢字になったと思います。 ・「月」は月の形をしているからこの漢字になったと思います。 ○全体で考えを発表してください。 何か気づいたことはありませんか。 ・「川」という字は水が流れている様子が分かります。 ・木がたくさんあると、森や林のすがたが分かります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> かん字は、「すがた」や「ようす」からできている。 </div>	※キーワード ・すがた ・ようす ・しるし ・え ・かたち ・「日・木・田・川・林・森・月」の漢字のもとになった絵と象形文字のカードを一人ひとりに用意して、考えさせる。 関 絵や印からできた漢字の成り立ちについて進んで知ろうとしている。 ・どのように漢字ができたのかを理由を伝え合うようにさせる。 ・カードを掲示しながら、絵と漢字の字形を結び付けて捉えさせ、漢字が表意文字であることを意識づける。 言 漢字の成り立ちを理解している。
【終末】 ふりかえり 11:17	6. 学習したことを振り返る。	・学習してわかったことやこれから頑張りたいことを発表する。